

株式会社トーチス 事業概要資料

株式会社トーチス
代表取締役社長 松岡大輔

目次

会社概要

サービス概要

腎臓病の方のための献立共有サイト

診療現場からいただくお声およびサポート

慢性腎臓病診療連携モデル事業内での連携案

会社概要

会社概要

腎臓病の方の課題を解決するために設立された企業です。
アプリケーション事業、メディア事業を展開しています。

本店所在地	: 〒248-0016 神奈川県鎌倉市長谷2丁目1番7号2 -B
代表	: 代表取締役社長 松岡大輔
事業内容	: 腎臓病の方のためのソフトウェア、ハードウェア事業
連絡先	: info@torches.tech
主要取引先	: 株式会社Medii、株式会社Pottech、株式会社iSurgeryなど

代表紹介



株式会社トーチス 代表取締役社長

松岡大輔

大学在学中よりアプリ開発を始め、クックパッド、ヘルスケアベンチャーを経て、株式会社トーチス創業

2021年~神奈川県の起業支援プログラム採択
(HATSU鎌倉チャレンジャー、かながわ・スタートアップ・アクセラレーションプログラム)

2022年CKD対策連絡協議会を傍聴させていただきました。



cookpad

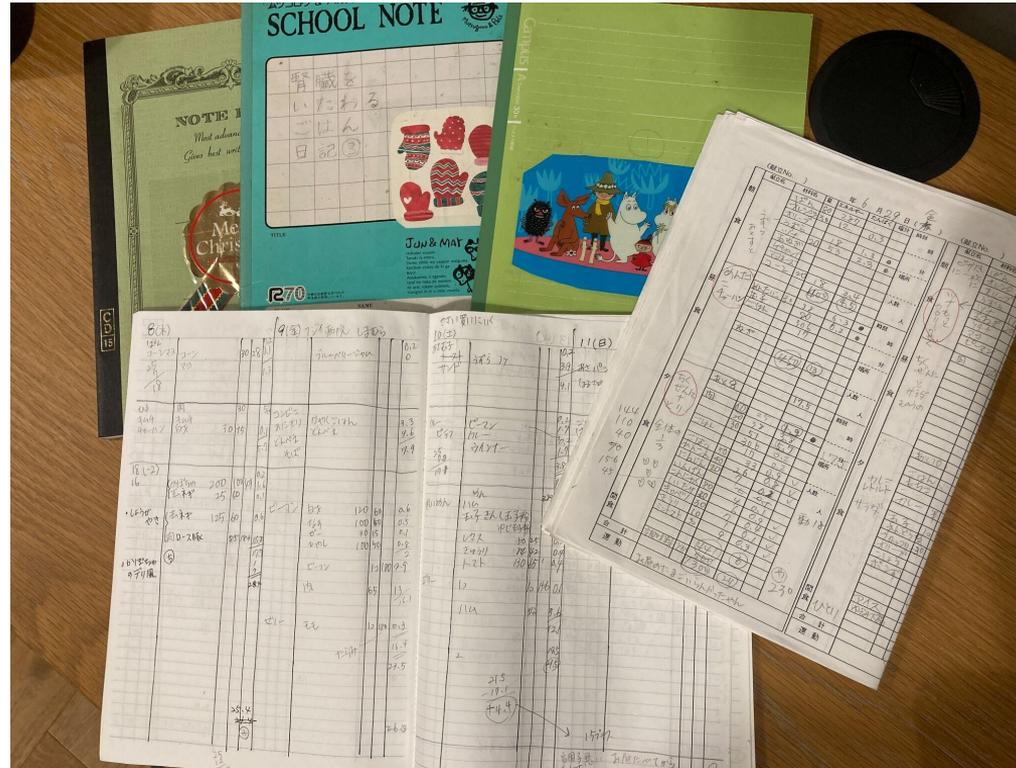


Torches

腎臓病の事業に取り組んでいる理由

・松岡の母が腎臓病で日々の生活で大変さを見てきたため

母の栄養計算ノート



サービス概要

栄養計算アプリ「栄養ビジョン」

概要

- ・腎臓病の方に特化した栄養計算アプリ
- ・腎臓病に特化した栄養計算項目や履歴機能、減塩商品などのデータベースが充実

アプリの価値

- ・食品成分表とノートでの計算に時間を削減
- ・腎臓病に対応していない栄養計算アプリの不便さを解決



血液検査記録アプリ「じんぞうグラフ」

概要

- ・eGFR、クレアチニン、アルブミン、尿素窒素、体重の推移をグラフで確認することができる
- ・長期的な推移をグラフで確認することができる

現状の代替策

- ・エクセル
- ・血液検査グラフアプリ
- ・ノート



栄養計算アプリと血液検査記録アプリの連携

- ・2アプリが連携し、食事がどう検査結果に影響したか分かるようになります
- ・大変な栄養計算も、検査結果と紐付けることでフィードバックが得られ続けやすくなります
- ・栄養指導で使っていただきたいと考えています

× 2022/12/20 📅 ~ 2023/3/20 📅



医師・管理栄養士の方へ

最大3ヶ月の検査数値と、栄養計算をあわせて確認できる画面です
日々の食事の振り返りにご利用ください

グラフ1

クレアチニン ▼

グラフ2

たんぱく質 ▼



日付	たんぱく質	食塩相当量	エネルギー
3/20	28.3 g	4.2 g	1325 kcal
3/19	37.5 g	5.6 g	1420 kcal
3/18	-	-	-
3/17	42.1 g	6.2 g	1535 kcal

診療現場からいただくお声 およびサポート

医師、管理栄養士の先生からいただくお悩み

じんぞうグラフ

- ・患者さん自身が腎機能の数値の推移に注意を払っているかどうかでその後の経過が変わることがある。ただし毎回紙で結果を渡しており管理が大変。

栄養ビジョン

- ・栄養士にとっても、より詳しい記録をお願いすることについての葛藤は常にありましたし、食事内容の聞き取りに多くの時間を割いてしまい、肝心なことを伝えきれないことも多かったです
- ・食事内容と検査データの比較に時間がかかり、継続的に効果的な指導ができない

弊社のアプリを用いて先生方の診療のサポートをさせていただきたい

弊社の栄養ビジョン、じんぞうグラフを用いることで、栄養指導の効率化や診療時に的確に患者さんと食事や腎機能の推移について話ができるのではないかと考えています。

日々の診療現場で毎日患者さんと向き合われている先生方のサポートができるアプリにしていきたいと考えています。

慢性腎臓病診療連携モデル事業内 での連携案

新規 慢性腎臓病（CKD）重症化予防のための診療体制構築及び多職種連携モデル事業

令和5年度当初予算案 21百万円（新規）

1 事業の目的

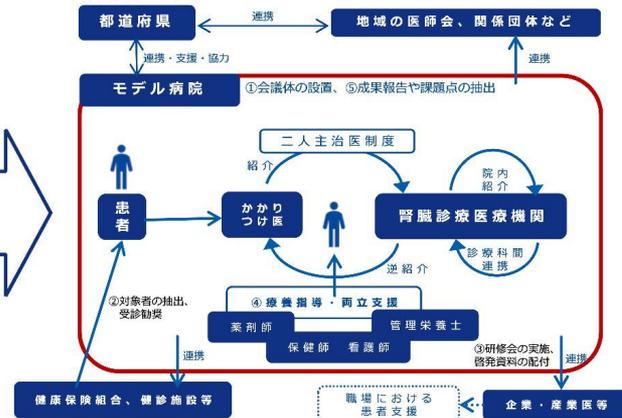
- 腎臓は「沈黙の臓器」と言われ、自覚症状が乏しく、症状を自覚した時には既に進行しているケースが少なくない。慢性腎臓病(CKD)の患者数は約1,300万人と多く、悪化し末期腎不全に至れば人工透析が必要となり、患者のQOLが大きく損なわれ、医療費も高額である。一方、早期に発見し適切な治療を行えば、透析の回避や健康寿命の延伸、透析導入時期の後ろ倒しによる生涯透析年数の短縮が可能であるため、早期発見・早期治療による重症化予防が極めて重要である。
- R1～4年度に実施した慢性腎臓病（CKD）診療連携構築モデル事業及び厚生労働科学研究により得られた課題として、健康保険組合等の関与の必要性、院内連携・診療科間連携の重要性、特に現役世代を対象とした多職種連携による療養指導、産業医等の視点を踏まえ企業を巻き込んだ両立支援の重要性が挙げられている。
- これらの課題を踏まえ、慢性腎臓病（CKD）重症化予防のための診療体制構築及び多職種連携モデル事業を実施し、CKDの重症化予防及び患者のQOLの維持向上を図ることを目的とする。

2 事業の概要・イメージ

<事業の概要>

- ①都道府県が実施する腎疾患対策と連携可能な病院において、都道府県や健保組合、健診施設、地域の医師会、産業医や企業等と連携し、腎疾患の診療体制の構築や多職種連携を行うための会議体の設置
- ②健康保険組合等と連携して、療養指導等が必要な対象者の抽出及び医療機関への受診勧奨の実施
- ③企業・産業医等に対して、重症化予防及び療養に係る患者支援の重要性について周知を図るための研修会の実施及び啓発資料の配付・提供
- ④多職種連携による療養指導及び両立支援の実施
- ⑤事業実施における成果報告や課題点の抽出

<事業イメージ>



3 実施主体等

- ◆ 実施主体：特別対策費を申請する都道府県及び健保組合、企業、地元医師会等と連携して事業の実施が可能な病院
- ◆ 箇所数：6箇所 ◆ 1箇所あたり：340万円 ◆ 補助率：定額（10/10相当）

腎臓専門医療機関および療養指導でアプリのご活用案

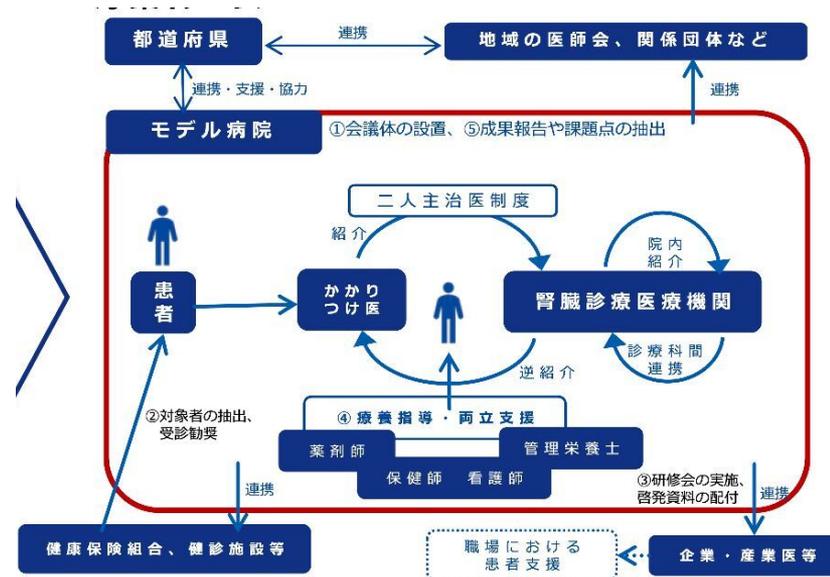
腎臓診療医療機関および療養指導の場で、アプリを活用いただければと考えています。

じんぞうグラフ

- 全員が対象者となります
- 検査結果の推移を把握してもらう目的
- このアプリをダウンロードいただくことで今後の腎臓病関連のお知らせも案内可能

栄養ビジョン

- 食事療法への取り組みかつ記録を指示された方が対象
- 期間限定でも利用可能



病院での弊社アプリの導入ステップ

1. 弊社より30分~1時間ほどアプリの説明レクチャーを実施
2. アプリの説明チラシを送付
3. そちらを元に患者さんへ説明を実施

もしアプリご利用者さまから質問があれば弊社のサポートチームより回答します

お使いいただいている患者さまからのよくある質問

共通

Q.料金は無料ですか？

A.現在は全て無料です。将来的に一部機能は有料になりますが、基本無料で使っていただけます。

じんぞうグラフ

Q.血液検査の記録項目は将来増えますか？

A.追加予定です。

Q.過去のものも記録可能ですか？

A.記録可能です。

栄養ビジョン

Q.どのくらいの料理データベースですか？

A.3000件の食事および料理データベースです。